

助け合って生活するために

ひょうご おおし あと ひとびと ひなんしょで知らない人
 兵庫をおそった大地しんの後、人々は、ひなん所で知らない人
 ときょうどうせいかつ みず たもの しゆうて はい
 としように生活し、水や食べ物などが自由に手に入らない生
 かつ おく ひとびと
 活を送りました。そんなとき、人々は、やくそくや決まりを守
 り、おたがいにゆずりあつて行動しました。その行動を全国や
 せかい ひと
 世界の人たちがほめたたえました。



はんしん あわじだい
 阪神・淡路大しんさいのときの
 ルールは、その後も各地の
 ひなんしょでも使われているんだよ。



(写真提供 産経新聞社)

阪神・淡路大しんさいのひなんしょでのルールれい



しつない ひ
 室内で火を
 つか
 使ってはいけません。



だい
 トイレは大べんのみバケツの
 みず なが
 水で流してください。



ほうそう よる じ
 放送は夜10時で
 しゅう
 終了します。



でんき よる じ
 電気は夜10時に
 き
 切ります。



こつ ない
 ペットは、校しや内に
 い
 入れてはいけません。



こつ しや
 高れい者、しょうがいのある人へ
 きくば
 気配りしてください。